

令和5年度第1回栗東市地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会 会議録要旨

日 時:令和5年7月13日(木)13:30~15:30

場 所:栗東市役所 4階 第3・4委員会室

出席委員:稗田委員、大槻委員、渡邊委員、富永委員、大石委員、宮武委員、石原委員、村山委員、蜂谷委員、
松浦委員

欠席者:竹村委員、市木委員

傍聴者:なし

1. 開会

2. 市民憲章

3. 挨拶

4. 自己紹介

各委員、市職員及び地域包括支援センターより自己紹介

5. 協議事項

(1)地域密着型サービス事業について(事務局より説明)

①地域密着型サービス事業所の運営状況(資料1)

②第8期介護保険事業計画実績報告(資料2)

③地域密着型特別養護老人ホーム整備事業者の募集について(資料3)

・質疑応答

委員:資料2 予防に関して通所リハ、要支援の方が増えているが、通所介護の方の実績値が計画値を上回っているのに対し、通所リハ 65%と訪問リハは 28%になっています。それに対し、何か使いにくいような理由原因とかありましたでしょうか。もう1点総合事業短期集中C事業に関して前年までは資料で実績があったかと思うのですがどうでしょうか。

事務局:介護リハに関して、通所リハと訪問リハを比較した場合、あくまで推測ですが、訪問は出来る事が限られてきているのかな、通所の方が機器が備わっているから出来ることが多いし、外出するという事で気分転換になり利用者も多いのかと思われます。人数が10人未満なので1~2人増減で率が大きく変わっているのかもしれませんが。訪問リハは、そもそもリハは計画的に主治医が認めた人というハードルの中で人数がそもそも少ない。その中で訪問は出来る事が限られるため、それで利用が少ないのかなと思うところです。

事務局: 2 点目の短期集中型サービスに関しては、事業を実施させてもらっている。短期集中型サービスについて、訪問型サービスの質問を昨年も頂いたのですけれども、地域密着型サービスという位置づけではありませんので資料には掲載させてもらっていません。事業の方は、通所型、訪問型サービス C も総合事業という枠組みの中で実施しています。

委員: 資料 2 の方で、介護サービスの方で令和 3~4 年度にかけて居宅サービスの方で利用実績が落ちているという報告だったが要因背景があればおしえてください。何かコロナの影響なども。

事務局: 係の中でも確認をしたけれどわからないというのが、今のところ正直な回答になります。偶然なのかコロナなのか具体的な要因がつかめていない状況ではあります。

委員: 現場の方で感じていることがあればお願いします。

委員: 介護サービス事業者協議会として、通所介護サービス、リハビリサービスとかの声を聞いていますとコロナで集合してサービスを受けるというのは、風邪症状でコロナの疑いがあるような方には極力受けるというよりは休める時は休んでもらおうという業者が多いようで、リハビリが軒並み減っているのはそのせいもあるのかな。ただ、通所に関しては伸びている 105%となっていますが。

委員: コロナがあって訪問の口腔ケアは一時期しないとなっていたが、居宅療養管理指導の実績値は徐々に増えてきている。これは介護保険で請求されたものですか。

事務局: そうです。

委員: 実感としてはそれほど依頼が増えているという感じはないが、どこか積極的に行っている歯科医院があったのですか。

事務局: 事業者までの抽出が出来ていません。

委員: 栗東市のどこかの歯科医院が増えているというのは全体的に考えてもなかなか、コロナの影響で増えているというのではないと思うが、どこかが積極的にやっているのかなと思い、口腔ケアは非常に重要な事であるので質問しました。

事務局: 逆に質問して申し訳ないが教えてほしい。コロナが影響して、令和 3 年度もコロナの時期だったので 3 年度 4 年度で、4 年度は 3 年度に比べてコロナの影響で落ちたとかあるんでしょうか。

委員: 私が聞いている限りでは、やっとコロナに対する対応のマニュアルとか対応方法などが、小規模の事業者さんが固まってきて、風邪症状がある場合は休んでもらってとか、マニュアル整備が整ってきて数が増えてきた原因なのかなと。去年今年一昨年とか、2 年前 3 年前とかそういう症状がある人にどう対応していくのか、ある程度大規模な中でマニュアルとか教えてもらって、小規模な業者に対しては遅れをとったのかなという感覚です。

事務局: ありがとうございます。

委員: もう 1 点質問。施設サービスの方は計画値に比べて利用が少なくて、居宅療養管理指導においてすごく伸びているという事、施設ではなく在宅でのサービスを受けている、在宅で過ごしやすくなっている感じですか。訪問診療とかも歯科の事も含めて一番伸びがあるのは歯科でしょうか。他のものもあるのでしょうか。

事務局: 他のものも伸びているのですが、特に伸びが大きかったのが歯科医師と歯科衛生士です。薬剤師さんの方も高い伸び率。

委員: 訪問診療に行っていただけの所が増えたという事もあるのでしょうか。

事務局: 訪問診療につきましては、一軒、昨年度にあおあおクリニックさんという訪問診療のクリニックが開始されたのも一因かも知れません。

(2)地域包括支援センター運営について(事務局より説明)

①令和5年度栗東市地域包括支援センター運営方針について(資料4)

・運営方針策定の趣旨、地域包括支援センター機能強化方針、重点取組項目の説明。

②令和5年度地域包括支援センター設置状況について(資料5)

・葉山包括支援センターが法人の判断で令和4年度5名から令和5年度6名に変更。

③介護予防・介護予防ケアマネジメント委託事業所一覧について(資料6)

・委託可能と回答をいただいた事業所とは基本的に契約を行っている。

・質疑応答

委員:職員体制をより強化して配置されたという事で必要最低限よりも体制を多くしているとか、他市とか他の圏域に比べてどういう状況なのか、何かわかるような情報があれば教えていただきたい。

事務局:他市の方とは、委託している業務の範囲が違う場合もありますので、一概には比べにくい部分はありませんけれどもほぼ同等に近いのかなと思っております。葉山地域包括支援センターにつきましては、本来5名で配置ですが、法人さんのお考えもありまして、今年度プラス1名の6名、常勤換算で5.8という形で配置されているという状況です。

委員:前回の会議の進捗状況で、要支援の方が介護予防のマネジメントを独自で上乘せ加算をして委託をされるという話でしたが、その後の反応はどうでしょうか。どんな感じなのか教えてください。

事務局:4年度から開始している事業で、実績としては7事業所が申請されて、合計100万ちょっとの補助金を支出をさせていただいています。

委員:全体の事業所の半分ぐらいということですね。

事務局:そうなります。

委員:ちなみにそれはいい感触ということで継続される見込みなのですか。

事務局:今のところ継続する予定で担当レベルでは考えています。介護の報酬に比べて、予防の報酬は低いところがありますので、この補助金を同等レベルになるのかな。継続予定ですが、なかなか効果の検証が難しく、各事業所の方にアンケートを実施し、補助金の内容の見直し等を考えていく予定です。

委員:ありがとうございます。

④地域包括支援センター相談業務等 統計資料について(資料7について村上より説明)

・虐待対応件数が減少しているが、今年度は多い。

⑤令和3年度事業実績報告及び令和4年度事業計画について(資料8, 9について事務局より説明)

・各包括より「高齢者虐待の相談対応」「高齢者虐待の防止・啓発」「ケアマネジャー同士のネットワークづくり」「認知症の人やその家族への支援」「個別地域ケア会議の開催」について、実績及び計画の説明。

・質疑応答

委員: 栗東西地域包括支援センターの報告で、個別地域ケア会議報告の開催の文言で、ケア会議とケース会議が書かれていますけれども、どのように使い分けされているのか。

事務局: 参加される人によって分けている。地域の方が参加されている場合と、関係機関だけの場合で。民生委員さんなど地域の方が入っている方がケア会議。担当者だけが入っているのがケース会議。

委員: 高齢者虐待相談対応について。私たちも高齢者虐待でないかということで、相談させていただいた事があるんですけど、うちではないんですけども訪問看護が虐待かも知れないという相談があるとして、どうやってそこのお家に訪問されるのか。それと、実際訪問して確認すると、虐待じゃなかった。訪問看護から通報など相談があったということで、訪問看護とケアマネジャーが変更されたということもあり、その時大丈夫でもその後あるかも知れないし、どのように介入されていくのか教えて頂きたい。少し稀なケースなのかな、訪問看護の一方的なことしか聞いていないので、誤解なのかもしれないですけども実際どのように訪問を決めていかれるのか詳しく教えていただけたら。

事務局: 一番慎重に動くところではあるけれども、通報があった時、あざがあります、デイサービスさんであったりケアマネジャーさんであったり報告があったときに、まずは安否確認、家族さん擁護者と呼ばれる虐待をしていると思われる方に会う前に、先にデイサービスへ行って本人を見に行く。実際にどのようにして家族さんに会うか慎重に協議をして誰がどのように報告するかを多職種で考えて動いています。やっぱり通報してくださるのはいいのですが、そこが分かると揉める事があるので、ケアマネジャーさんがいる方だとケアマネジャーさんと相談しながらどのような方法で家族さんに連絡するか接する事ができるか考えるんですけども。この前あったケースで、直接虐待していますとは言えないので、その方はパーキンソンで特定疾患をもっておられるので保健師の方から介護者の方の、男性介護者の方のアンケートに寄せてもらいましたと訪問しました。アンケートを取りながら家での様子や対応の仕方だったり、できる方だったら地域を回っていますとか全然違うタイミングで言って回らせてもらったり、色々と考えながら回らせてもらっています。

委員: ありがとうございます。私たちも色々勉強して一緒に対応できるようにしていきたいと思います。

委員: 3包括の高齢者虐待防止啓発というところで、介護サービスの事業者さんに対して啓発活動、研修されたり、計画であったりされていると思うのですが、そこに対して啓発を注力していく事で虐待の防止に繋がるとお考えなのかなと思います。虐待をする、してしまう対象の方というのは、事業所に務めている方というよりも、介護サービス利用している養護者。データをとっていないですけど 75 歳以上の高齢者の方がいらっしゃる息子さん娘さんご家族さんの方、そこに対しての啓発とか防止よりも、介護サービス業者にしていく方が注力していく方が効果的なのか。

事務局: 当職としては、2つの二本柱で。1つは事業者さん向け、事業所向け事業所・施設内での虐待は実際にあります。ケースとしてあります。しっかり介助の方法であったり、虐待ではないですけど介護に慣れていない方が、よく介助されてあざになるとか、家族さんが包括に来られたりとか事業者さんに向けて介助方法であったりとか、色々話をさせてもらったりとか一つの例はあります。家族さん、地域住民の方に向けては、見守りの方だとか虐待が起こりうる状況の方に対しては、疲れていませんかとか、こういう事はありませんか、大きな声を出したい時とかありませんか、ケース訪問を用いて啓発というよりは予防のためにさせていただいている。実際のところは啓発予防では二本柱で各包括はしている。家族様にとっての部分については、都度、相談に来られてお話をお聞きするという事が多いです。あとサロンとかで認知症のサポーター、虐待の話もしますしそういうところで合わせて、地域住民の方には

啓発しています。

事務局: 補足。事業所への啓発というところで、あざとかあっても通報されない場合もあるので、必ず本人さんの権利擁護するために、本人さんのために通報してくださいねという意味も含めて啓発という形で、また、今後の虐待に悪化して大事に至らないようにという意味も含めての啓発になります。

委員: 事業所さんというサ高住も含まれますかね。サ高住も割と元気なうちに入られるのですけれども、年々、年をとっていくにつれ認知症を発症してその対応が、私感なのですけれど、認知症に対しての対応が至らないように感じて、対応がまずいがために問題を起こしているような感じを受けています。上手に対応してあげれば他の利用者さん、住民の方とのトラブルにならないだろうけれど。それがためにサ高住を出て行かなければならないことになることも。サ高住の職員さんにも啓発はされていますか。

事務局: ○○のサ高住のご家族さんからの相談があれば伺って、ヘルパーさん等にお話はさせていただいています。全体研修はコロナがあったのでできていないが、啓発はさせていただいている。

委員: 今、栗東市のケアマネジャーさんで何名おられるのか。離職をしている職員、たくさん辞めておられるのかも教えていただければ。

事務局: ケアマネさんの人数ですけれども約 50 名前後おられるという認識をしています。

事務局: 離職率は分からないのでお答え出来ませんが、新しく入られた方も直ぐ辞められたりとか、長く勤めている方が昨年度辞められたりとか、高齢者の数が増えている割にはケアマネジャーさんの数は増えていないという現状は認識しています。

委員: ありがとうございます。私も居宅がありますので新しい人にも入っていただきたいと思います。新しい人にも定着してほしいし、定着してもらえるよう私も努力していきたいと思います。

事務局: ありがとうございます。

委員: 3 つの地域包括ケアセンターで、地域ケア会議とか大変だと思うのですが、1 点教えていただきたいのが運営方針のところで重点をあげていただいて、栗東市のわかりやすいと思ったのですが、5 番目に書いております地域資源の繋がりがつくっていくという点について、具体的にどのような事をされる予定なのか、何かあれば教えていただきたい。

事務局: 今年度からコロナが 5 類になったという事で、1 つ目としては事業活動、交流会というところでコロナの感染症予防も踏まえて 3 つの包括で、圏域毎に、民生委員とより多くのケアマネジャー様と交流をしていただいてネットワーク作りをしようと思っています。そのネットワーク作り内容についてはケアマネ連絡会の中にケアマネ代表者会議というのがあり、管理者様に参加していただいているのですが、今年度からは包括とケアマネジャーさんの代表 3 名で事務局を、立ち上げながら、どういうネットワーク作りを活かせれば離職防止ややりがいを感じて働いていただけるかなどネットワーク作りを、今現時点で模索しながら進めているところです。

委員: 今のことと関連して、栗東市高齢者が増えている中、包括の方から民生委員との色々な協議が入っている中、なかなか民生委員の成り手がなくて、そして新しいものが増えてベテランがなくなってきたという状況です。包括さんの方からありましたように、栗東市の色々な介護の面が支援されるような事がたくさんあるので、また、民生委員の方も地域包括みたいなどういう方が組織を組んでおられる方がいるのか、よく分からないような、新しい方は分からない状態ですので、今包括さんが言ってくださったように 1 つの連絡会といいますか、勉強会というような、そして栗東市の介護あるような色々理解しながら地域の方に繋げていくみたいな中でこのような機会を作っていく、私たちも喜んでいくというご報告させていただきます。ありがとうございます。

(3) 令和5年度栗東市地域包括支援センター運営協議会年間計画について(資料10について事務局より説明)

・質疑応答

特になし

6 その他

特になし

7 閉会